

# 強靱な運輸システム

運輸部門は現在、地政学、気候変動及びエネルギー安全保障に関連する多くの混乱要因に直面している。運輸システムの強靱性とは、運輸部門がこうした混乱要因に対処し、適応し、そこから回復する能力のことをいう。本報告書は、世界中の運輸システムに起こる主な混乱要因について提示する。そして、脆弱さを把握することで不確実性を減らす方法や、危機の際に運輸システムが確実に機能するために必要な主な緩和策、適応策を探る。

本報告書は、ITFの「強靱な運輸システム」ラウンドテーブルの討議を基にした。

## 政策提言

- **運輸システムは脆弱である。** 運輸システムは、地政学的緊張や気候変動の影響から感染症の世界的流行まで、さまざまな混乱要因に直面する。これらの混乱要因について理解することは、強靱性を高めるために非常に重要である。
- **混乱要因は波及効果がある。** 運輸ネットワークは、相互に結びついており、世界の一部地域の交通の混乱要因が容易に他の地域に広がる。このような波及効果をコントロールするには、地域間の協力が必要である。
- **強靱性について体系的に取り組む。** 運輸の強靱性という概念は、国家レベルの政策、長期計画、評価手続、競争政策及び交通指標に組み込まれなくてはならない。

本資料（仮訳）はOECD国際交通フォーラムが翻訳したものではないため、OECD国際交通フォーラムの公式翻訳とはみなされない。原文と仮訳の間に相違がある場合は、原文のみが有効である。